

令和3年第11回 新座市教育委員会 定例会
会 議 録

招集期日	令和3年11月16日 午後3時30分	場所	市役所第二庁舎304会議室			
開閉日時 及び宣告者	令和3年11月16日 午後3時30分 開会	宣告者	金子 廣志			
	令和3年11月16日 午後4時47分 閉会	宣告者	金子 廣志			
教育長	金子 廣志					
委員	議席番号	氏名	出・欠			
	1	鈴木 松江	○			
	3	脇田 美保子	○			
出席職員	議席番号	氏名	出・欠			
	2	小泉 哲也	○			
	4	宮瀧 交二	○			
出席職員	①教育総務部長	○	②生涯学習スポーツ課副課長	○	③教育総務課長	○
	④中央公民館長	○	⑤中央図書館長	○	⑥学校教育部長	○
	⑦学校教育部副部長兼学務課長	○	⑧教育支援課副課長	○	⑨教育相談センター副室長	○
	事務局 戸川真理子、城間悦子					
会議事件名	発言者	発言の要旨				
開会	教育長	令和3年第11回新座市教育委員会定例会を開会する。 午後3時30分				
会議録承認	教育長 各委員 教育長	令和3年第10回新座市教育委員会定例会の会議録の承認について質疑はあるか。 承認 令和3年第10回新座市教育委員会定例会の会議録は承認された。				
議案第22号	教育長 教育総務課長 教育長	議案第22号「教育委員会の事務に関する点検評価報告書について」を教育総務課長から説明願う。 第9回教育委員会定例会において、令和2年度新座市教育行政推進施策のうち教育委員会の所管する15施策、113事業について所管課の一次評価の結果をお示しした。その後、教育委員の皆様には5つの基本目標に対して二次評価を検討していただいたので、本日は最終的な二次評価の決定をお願いしたい。 なお、今後の流れとしては、一次及び二次評価を踏まえた講評を頂くため、学識者の皆様による会議を開催しているが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を考慮して、昨年度に引き続き本年度も書面で御意見を寄せていただく方法としたいと考えている。事務局で御意見を取りまとめた上で議会に提出する報告書を作成し、改めて教育委員会定例会でお示しする予定であるため、最終的な報告書の完成まで継続審議としていただきたい。 それでは、教育委員会の事務に関する点検評価に係る二次評価について、基本目標ごとに確認していきたい。それぞれの評価を担当された委員に読み上げていただき、御説明なども添えていただければと思う。 基本目標1は、脇田委員が担当されたが、本日会議に				

	<p>委員</p>	<p>少し遅れて出席される旨の御連絡を頂いているため、「基本目標2 生きる力の育成と質の高い学校教育の推進」からお願いしたい。</p> <p>『新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けて、国の緊急事態宣言や県の方針を受け、令和2年3月2日から同年5月31日まで市内全小・中学校を臨時休業とする異常事態となった。6月1日から学校が再開となり、小・中学校の入学式が人数制限の中6月1日に行われたことも異例のことであった。</p> <p>このような中で、教育委員会が学校と協力をして対応に取り組み、児童生徒の安全確保を第一に学力の定着を図ることができたことは評価できる。</p> <p>先ず臨時休業中における家庭での過ごし方や学習の取り組み方などの「リーフレット」を作成し、学校から各家庭に配布し周知した。また各学校から配布される学習プリントの他に、学校再開までに367動画を作成・配信し、延べ12万6千回を超えるアクセス数を得たことは児童生徒の家庭学習に有効であったことを示している。更に、児童生徒の授業時数の確保に向けて、本市がいち早く各学期の日程や夏季休業日、冬季休業日の日程を変更したことは効果的な策であった。</p> <p>三密を避けた学校生活は制限が多く児童生徒や教職員の心身に大きな負担が掛かったと思われるが、各学校においては一時間一時間の授業を重視し、分かる授業の実施、主体的で対話的な深い学びが着実に進められた。併せて、学力学習調査結果の分析・活用を経年で推進し児童・生徒一人一人の学力向上に役立てている。これらについても教育長と指導主事が全ての学校を訪問して、実態把握に努めるとともに授業改善に向けて指導助言がなされたことは評価できる。</p> <p>本市においてはGIGAスクール構想に伴い一人一台の端末が整備され、ICT教育の推進に向けて大きな飛躍となった。これらの効果的な活用を図るため、今後一層教職員への研修や情報提供を進め、指導技術の向上を図る必要がある。併せて、近年、小・中学生の間にもSNSネットトラブルが問題になっており、SNS等の適切な使い方や危険性についても一層の啓発が必要となっている。12月に「新座市小・中学校における携帯電話等に関するガイドライン」を策定し全校に周知したことは前進である。</p> <p>人流制限の中、市教委主催の事業や研修会などの多くは中止せざるを得なかったが、学校・家庭・地域の交流事業や学校応援団の推進が順調に行われたことは、コミュニティースクールを推進する力となった。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の収束が見えない現状であるが、引き続き今後も不測の事態に備えて、学校の在り</p>
--	-----------	---

教育長 委員	<p>方、授業の在り方、児童生徒の安全確保等に適切に対応できる対策を策定していく必要がある。』</p>
教育長 委員	<p>基本目標2について、補足や御意見等はあるか。 評価には記載されていないが、No.4 4「学習支援等の子どもの貧困への対策」の全体評価が3、今後の方向性がE（廃止）とされていることが気になった。今年度、中学校全学年を対象に初めてヤングケアラーに関する調査を実施したことは、本市の実態を把握し、今後の対応や指導に生かすことができるものと大きく評価している。令和2年度の事務事業の評価ではないので、少し逸れてしまうかもしれないが、関連する事項として発言させていただく。 続いて、「基本目標1 家庭や地域が一体となった就学前教育の推進」について、願います。 『新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、関係団体との連携や研修会の実施など、多くの事業が中止せざるを得ない中で、手紙やビデオレターなどの手段を使用したり、工夫をしながら、できる範囲での交流や連携を行った。</p>
教育長 委員	<p>ただし、今後対面交流ができない場合の内容の検討は早めに対処しておくべきである。 十文字学園女子大学との連携は、令和3年度から「3年経験者研修」が廃止となるが、各小・中学校での研修や教育課題への対応などに多くの情報を得ることができ、成果を上げているので、今後も大学との連携は推進していきたい。』</p>
教育長 委員	<p>基本目標1について、補足や御意見等はあるか。 No.6「大学との連携による研修等の実施」は、令和3年度から十文字学園女子大学との連携が廃止となっているため、今後の方向性がD（縮小）となっているが、他の2大学との連携は考えられないものなのか。</p>
学校教育部長	<p>就学前教育ということではないが、校内研修等で十文字学園女子大学以外の大学とも連携しているので、今後も引き続いて推進していく。</p>
教育長 委員	<p>例えば、数学の研究をしている先生を校内研修でお迎えして指導を受けるということは長い間続けてきている。また、生涯学習分野においても、にいぎプラスカレッジで3大学と連携を図っている。</p>
教育長	<p>十文字学園女子大学には、幼児教育学科と児童教育学科が設置されているが、立教大学と跡見学園女子大学にはない。そのため、基本目標1の就学前教育の推進に関して連携できるのは、組織から見ても十文字学園女子大学に限られていると思う。したがって、各大学が特に力を入れている分野で連携を図っていくのがよいと考える。 続いて、「基本目標3 心豊かで健全な青少年の育成の推進」について、願います。</p>

<p>委員</p> <p>教育長 各委員 教育長</p> <p>委員</p>	<p>『子供たちの週末の安心安全な居場所づくりの確保を目的に開催された「新座っ子ぱわーあっぷくらぶ」は、文化系、学習系、スポーツ系とバラエティーに富んだ講座の開設により年々参加者も増加し、安定した事業推進がなされていた。令和2年度に関してはコロナ禍で感染リスクを心配され開設を見送った団体があったため、講座が減少し、参加者もあらかじめ定員を例年に比べ遵守したことにより減少した。今後このまま講座や参加者が減少しないよう、アフターコロナを睨み指導者や団体との調整を図り、これからも本事業が継続され、更に内容が充実発展していくことを望む。</p> <p>子どもの放課後居場所づくり事業（ココフレンド）は、勉強、スポーツ、文化活動、地域との交流活動の取組の活動拠点として、待望であった未開設の4校に新たに開設し、放課後の活動拠点として全17校に開設が完了した。コロナ禍ということもあり、感染拡大を恐れ登録を見送ったり、参加を自粛するなどの動きも見られたが概ね各学校50パーセントの登録を得ることができた。保護者からの評価、関心も高く、新型コロナウイルス感染症の影響を受け休室の時期もあったが、子供の放課後の安心安全な居場所として大いに成果を上げている。</p> <p>読書量が減少しがちな青少年を対象に、第3次新座市子ども読書活動推進計画に基づき図書を購入した。図書館での発達段階に応じたサービスの提供の取組が功を奏し、コロナ禍において利用が伸び読書に親しむ青少年が増えた。今後、読書の更なる習慣化を目指し、お勧めの本を効果的に紹介するなどの啓蒙活動を推し進める必要がある。』</p> <p>基本目標3について、補足や御意見等はあるか。 なし</p> <p>続いて、「基本目標4 生涯学習・スポーツ・文化芸術活動の充実と地域の歴史・伝統・文化の継承」について、願います。</p> <p>『令和2年度は新型コロナウイルス感染症の蔓延により、生涯学習・スポーツ・文化芸術活動の全般において事業の中止・縮小が相次いだ。しかしながら、そのような中であってもオンライン方式による開催など、様々な工夫と関係機関・関係者の努力により、各種の事業が推進されたことは、大いに評価される。以下、個別の施策に対する評価を記したい。</p> <p>まず、「1. 生涯学習推進体制の整備・充実」では、市内3大学との様々な連携が既に多くの実績を重ねてきているところであるが、担当課からは今後への更なる期待も寄せられており、大学・新座市・市民のそれぞれにとって有意義な連携がより一層発展していくことを期待したい。</p>
--	--

	<p>教育長 各委員 教育長</p> <p>中央公民館長</p> <p>教育長 中央図書館長</p> <p>委員</p>	<p>「3. 公民館活動の推進」では、その地域性や社会性に留意した活動が課題として指摘されているが、各公民館が単独で主催事業の企画・推進にあたるのではなく、すべての公民館が一体となって事業を検討し、各館が蓄積してきた諸成果を全体で共有していくような“横の連携”がより重要である。</p> <p>「4. 図書館事業の推進」であるが、新座市の図書館活動に関しては、かねてから定評のあるところである。“コロナ禍”にあっても通常業務を維持する傍ら様々な事業が推進されたことは大いに評価される。</p> <p>「11. スポーツ・レクリエーション活動の推進」では、今後の事業見直しの必要性が指摘されているものもあり、速やかな検討が必要である。</p> <p>最後に、時代の要請に応えたきめ細やかな「12. 情報提供・学習相談体制の充実」については、単年度の取組では不十分な課題であり、今後も長期的・計画的な対応の継続を期待したい。</p> <p>なお、今年度の評価の対象となる施策ではないが、積年の課題とされてきた歴史民俗資料館の移転・リニューアルが始動し着実にその準備が推進されていることは、本市の歴史・伝統・文化の継承にとって大変重要なことであり、今後の進展が期待されることを指摘しておきたい。』</p> <p>基本目標3について、補足や御意見等はあるか。</p> <p>なし</p> <p>令和2年度は、異例中の異例であった。未だかつてない状況の中で様々な事業が運営されてきたが、公民館の現場の状況を聞かせてほしい。</p> <p>講座は例年と比べると3分の1ぐらいの回数であった。現在も人数制限をしており、来年3月末までは定員の半分ぐらいでお願いしているところである。</p> <p>図書館はどのような状況だったか。</p> <p>ブックスタート事業は、通常、健診の際にお渡しする形でやっていたが、令和2年度は、郵送方式を採らせていただいた。</p> <p>全体的な運営としては、コロナ禍で休館を余儀なくされた部分もあるため、利用者が減少してしまう状況となったが、今年度は徐々に増えてきている。</p> <p>私は、毎年各公民館で歴史講座をシリーズでやらせていただいている。今月は栗原公民館で2回、大和田公民館で1回お話をさせていただくのだが、例えば、オリンピック・パラリンピックやSDGs関連など、公民館同士の横の連携で、3人の講師の方にローテーションで回っていただいで、市内全域で同じ講座を受けることができたらいと思う。そうすれば、講師との折衝も1回で済み、さらに、聞き逃した回がある場合に他の館で聞かせ</p>
--	--	---

	<p>中央公民館長</p> <p>教育長</p>	<p>てもらうこともできる。人間的にも厳しい体制の中、限られた予算で準備されているのがよく分かるので、テーマによっては共同で企画することも検討されてみてはいかがかと思う。</p> <p>現在、社会教育指導員を各館に1名ずつ配置し、それぞれが講座等を計画して進めている状況であり、同じような講座が重なったりということもある。御指摘のとおり、横の連携がうまく取れていないという状況である。すぐに実施できるかは分からないが、例えば、中央公民館に指導員を2、3人集めて、全体的な計画を立て、それを各館に振り分けるというやり方も考えられる。今後検討をして、良い方向に進められればと思う。</p> <p>続いて、「基本目標5 生涯学習・スポーツ・文化芸術活動の充実と地域の歴史・伝統・文化の継承」については、私が読み上げる。</p> <p>『人口急増期に建設された小中学校の校舎やプール・給食調理室等の付帯施設は、小規模な改修工事を実施しつつ、運営に支障のないよう努めてきたが、経年劣化は避けることができず、大規模な改修工事の時期を迎えている。</p> <p>校舎においては、従来の改修に加え長寿命化を視野に入れた改修計画を進めることとし第二中学校の校舎長寿命化改修工事の基本設計に着手し、設計業務委託を実施できたことは評価できる。今後は、計画的に長寿命化改修工事を推進し、快適な教育環境の創出に力を注いでほしい。</p> <p>プールの老朽化も深刻な問題となっている。特にろ過装置は塩素を含んだプール水を浄化処理するため、腐食等の劣化が見られ、定期点検の実施と計画的な設備の更新が必要である。今年度には、第四小学校のろ過更新工事を実施したが、今後においても定期点検を確実に実施し、安全な運営を進めることが必要である。また、昨今の気象状況から、プールを使用できる期間が限られてきていることから、民間のプール施設への委託の検討を進めていくことが必要である。</p> <p>新座小学校の給食室改修が、コロナ禍においても実施されたことは評価できる。給食は何よりも安全でなければならない。また、時代の進展とともに、新しい調理機材が必要となってきた。新座小学校の改修においても、スペースの拡張だけでなく、スチームコンベクションの導入が図られたことも評価できる。今後の施設設備の整備・改修に当たっては、未来の教育の視点を視野に入れ、従来の改修(悪くなった箇所を直す)という発想から、未来の教育の在り方を想定した改修を進める必要がある。</p> <p>学校情報機器の整備については、国が進めるG I G A</p>
--	--------------------------	--

		<p>スクール構想によって飛躍的に進化した。一人一台のタブレット端末を整備するため、13,318台のChromebook導入を図り、高速・大容量の校内LANの整備も計画的に実施できたことは評価できる。国の整備基準にはなかったタブレット用タッチペンの購入も迅速に図られたことも評価できる。今後は、教師用タブレット端末の整備が待たれるところである。</p> <p>公民館・コミュニティセンターのバリアフリー化改修は、早急に整備を進める必要がある。利用者の高齢化に伴い、特にエレベーターの設置やトイレ等のバリアフリー化は要望も多く、対応が待たれている。</p> <p>新座市の生涯学習センターとして中心的な機能を果たしてきた「にいぎほっとぷらぎ」の賃貸契約の期限が迫っているが、更新しない方向で調整が進んでいる。駅隣接の施設であり、図書館機能や展示室機能もあって、活用頻度の高い施設であったが、老朽化のため地権者に返還することとなった。今後、図書館機能や展示機能に支障をきたさないよう代替施設を用意すべきである。新型コロナウイルス感染症拡大によって、施設利用者が激減した中での閉鎖は、偶然とはいえタイムリーであった。</p> <p>歴史民俗資料館と保健センターの複合施設化が検討され、基本設計から実施設計業務委託が予定どおり完了したことは評価できる。』</p> <p>基本目標5について、補足や御意見等はあるか。</p> <p>令和2年度の事業を令和3年度に評価するので、表記の仕方が少し難しい箇所がある。にいぎほっとぷらぎについて、契約を「更新しない方向で調整が進んでいる。」というのは令和2年度の状況で、「地権者に返還することとなった。」のは、令和3年に確定したものである。また、「地権者」より「所有者」とした方がよいと思う。</p> <p>それでは、「…更新しない方向で調整が進んでいる。駅隣接の施設であり、図書館機能や展示機能もあって、活用頻度の高い施設であったが、老朽化のため所有者に返還する方向である。」としてはいかがか。</p> <p>こちらでよければ、後ほど事務局で修正をお願いする。</p> <p>その他、二次評価の全体を通じて御意見等はあるか。</p> <p>特に生涯学習スポーツ課が所管する事業についてだが、今後の方向性について、例えば、No.47「青少年健全育成団体への支援・連携」ように今後の方向性がD（縮小）となっているものがいくつかある。これらは、令和2年度から令和3年度に移る際の方向性であり、令和3年度に向けては、市の財政非常事態宣言が発出されるとともに、新型コロナウイルス感染症の状況等によって事業を縮小する方向性があったためである。ただし、現在、令和4年度の予算編成作業をしているところだが、それらの中にも復活の方向にある事業が多々ある。したがって、</p>
	教育総務部長	
	教育長	
	教育総務部長	

委員	<p>次の評価では低評価でなく、現状維持、若しくは、上向き可能性もあるということをご承知いただければと思う。</p> <p>今後の方向性D（縮小）については、承知した。E（廃止）については、次年度は項目がなくなるということによいか。</p>
教育長	<p>例えば、No.5 1『「こころのプロジェクト（夢の教室）」等の実施』については、オリンピックに向けた準備という形で、子供たちの啓発活動としてオリンピック選手等にお越しいただく事業を実施したもののだが、こちらは終了ということになる。</p>
教育総務部長	<p>その他、一部確認をさせていただくと、例えば、No.6 8『ブックスタート事業「はじめてブック」及び「あかちゃんタイム」の実施』は、令和3年度は実施しておらず、廃止となっている。ただし、今後の状況で集団健診等が復活する場合には、ブックスタート事業も復活の可能性は十分あり得るものである。</p>
教育長	<p>E評価については、今後も廃止が決定している事業と令和3年度は廃止という事業が混在している。</p> <p>ブックスタート事業は、令和2年度は郵送で対応したが、郵送代がかなり高額となるため、令和3年度は、集団健診が行われない状況では事業を廃止せざるを得なかったという状況がある。</p>
委員	<p>先ほど少し触れたのだが、No.4 4「学習支援等の子どもの貧困への対策」はE（廃止）ということだが、この項目がなくなったとしても、今後の取組は別の形で何か継続されるか。</p>
教育支援課副課長	<p>ここで指しているのは、県実施のジュニアアスポート事業で、場所のみ適応指導教室を提供していたものであるが、教育支援課として取り組んでいる実態がないため、E（廃止）としたものである。</p> <p>この項目はなくなるが、教育委員会としては、先ほど委員からもお話があったヤングケアラーについても継続して取り組んでいく。</p>
学校教育部長	<p>ジュニアアスポート事業は、学校教育で子供たちのことを把握している教育支援課も協力するという立ちは上がったもののだが、実際動き出すと、教育委員会としての関わりはほぼ皆無で、実態も把握していないため、E（廃止）という方向を打ち出したという経緯がある。</p> <p>ただし、子どもの貧困への対策というのは、学務課では、準要保護家庭への支援も継続して行っており、また、家庭でのインターネットの接続環境を整備する事業についても、昨年度に教育支援課が中心となって実施している。この項目に入るかは別として、コロナ禍が終息した後も、色々と形を変えながら支援を継続していくものである。</p>
教育長	<p>それでは、これまでの意見を踏まえて、二次評価の文</p>

<p>議案第23号 議案第24号 議案第25号</p>	<p>教育長 生涯学習スポーツ課副課長 教育長 各委員 教育長</p>	<p>言を修正をし、決定としたい。本日の二次評価を踏まえ、学識者の皆様から講評を頂いて、最終的な報告書を取りまとめる。本議案については、引き続き継続審議とする。</p> <p>議案第23号から第25号までは、全て「公の施設の指定管理者の指定について」であるため、一括して生涯学習スポーツ課副課長から説明願う。</p> <p>初めに、議案第23号は、新座市営殿山運動場を始めとする運動場、庭球場及び新座市民総合体育館の指定管理者である公益財団法人新座市スポーツ協会の指定期間が令和4年3月31日で満了になることに伴い、同年4月1日から引き続き新座市スポーツ協会を3年間指定管理者とすることについてである。</p> <p>議案第24号は、新座市立野火止公民館の指定管理者である株式会社セイウンの指定期間満了に伴い、引き続き株式会社セイウンを5年間指定管理者とすることについてである。</p> <p>議案第25号は、福祉の里図書館及び新座市立中央図書館分館の指定管理者である株式会社図書館流通センターの指定期間満了に伴い、引き続き株式会社図書館流通センターを5年間指定管理者とすることについてである。</p> <p>いずれもこれまでの施設運営状況は良好であり、引き続き同事業者を指定管理者とするものである。本件は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第25条第2項第6号の規定に基づき、市長に意見を申出するため提案するものだが、御承認いただくと、令和3年第4回市議会定例会の議案として提出させていただくことになる。</p> <p>議案第23号、第24号及び第25号について、質疑はあるか。</p> <p>承認 議案第23号、第24号及び第25号は、承認する。</p>
<p>専決処分</p>	<p>教育長 教育総務課長</p>	<p>専決処分「財産の取得について」を教育総務課長から説明願う。</p> <p>本件については、第9回教育委員会定例会にて御案内申し上げたが、小中学校の普通教室448教室、特別教室69教室に合計517台の可動式コンピュータを配備するものである。既に児童生徒には1人1台を配備しているが、円滑な事業実施のため、教職員が自由に使用できる可動式コンピュータの配備要望を学校から頂いており、今回導入する517台は主に教職員用となっている。</p> <p>財産の取得価格が2千万円を超えるため、市議会の議決を得るべき案件であり、早急な契約締結が必要なため、市長専決処分により対応させていただくこととし、このことについて配付資料のとおり令和3年10月22日付けで教育長専決処分を行わせていただいたことを御報告</p>

諸報告	教育長 各委員	<p>申し上げる。</p> <p>予定価格は、税込みで2,892万6,925円で、内訳としては、小学校372台、中学校145台、合計517台の端末に係る購入費、管理ソフトの使用料及び設定運搬費である。</p> <p>契約先は、これまでの入札で全て株式会社内田洋行が落札しており、特に前回の一般競争入札においては、応札事業者が同社1社のみであったことから、今回は株式会社内田洋行を相手先とする特命随意契約で対応した。</p> <p>導入スケジュールだが、10月26日付けで本契約を締結し、現在事業者において納品の準備が進められている。11月24日頃に機器が納入され、検品を経て12月上旬には学校にて使用可能となる見込みである。</p> <p>なお、前回及び前々回の可動式コンピュータ購入と同様、本件も新型コロナウイルス感染症対応地方創設臨時交付金の対象事業となっている。</p> <p>本件について、質疑はあるか。 なし</p>
	教育長 教育総務課長	<p>続いて、諸報告に移る。</p> <p>名義後援について、アトリエ クンストハウス主催の「第24回絵画教室 アトリエ クンストハウス」を始めとする7件の事業に対して承認した。</p>
	生涯学習スポーツ課副課長	<p>令和3年6月に第2庁舎1階にオープンした新座市民ギャラリーの愛称について、過日市民の皆様から公募したところ36件の応募があり、審査の結果、市内在住の早瀬祐子さんの応募作品「憩いのギャラリー こもれび」に決定した。愛称の意味、考えた理由については、木漏れ日のふりそそぐ雑木林で、ゆったりと散策を楽しみ、憩うというイメージからの着想とのことである。</p> <p>今後この愛称を活用させていただき、多くの皆様に愛着を持って利用していただけるよう、展示会開催時には第二庁舎入口付近に愛称を掲示した職員手作りの看板を設置している。現在、憩いのギャラリーこもれびでは、「新座っ子が描く東京2020オリンピック・パラリンピック」と題した市内小学生のポスター展を開催している。お時間があったら、是非お立ち寄りくださるようお願いする。</p>
	教育長	<p>教室にタブレット端末が配置されるのは、恐らく県内でも例がないと思う。ほとんどの市では、先生方は事務用のウィンドウズパソコンを教室でも使用している状況にある中、本市は先進的であり、非常にありがたく感じている。</p>
	学務課長	<p>令和6年度新規学校給食業務委託校の決定について報</p>

	<p>教育支援課副課長</p>	<p>告をする。</p> <p>小中学校の給食業務委託については、市費の調理員の退職に併せて行っている。現在、小学校15校、中学校6校の21校で実施している。令和6年度に向けて野寺小学校の外部委託を決定し、現在設計等の準備を始めている。野寺小学校の委託が完了すると、残すところ東野小学校1校のみとなる。</p> <p>3件の報告をする。</p> <p>①新座市学校評価システム推進事業中間評価結果について報告する。</p> <p>本市は、学校評価システム推進事業の取組の一つとして学校評価を実施している。配付資料は、中間評価結果となる。小中学校ともにA評価となっていた項目がある。17番の学校だよりやホームページでの情報提供に関するものである。コロナ禍において、授業参観や各行事への参画が制限されている中で、何とか保護者や地域との連携を進める学校の取組を充実させていることが分かる。</p> <p>3.20ポイント以下の評価が低い項目は、小学校では、8番の言語活動の充実による思考力・判断力・表現力等の育成が3.19ポイント、令和2年度と比べ0.01ポイントマイナスとなっている。10番の外国語、国際理解教育の推進が3.20ポイントだが、プラス0.04ポイントとなっている。11番の挨拶、言葉遣いの指導が3.15ポイントでプラス0.02ポイントとなっている。14番の体力向上が3.12ポイントで昨年度と同様の結果となっている。</p> <p>次に、中学校では、4番の組織運営が3.16ポイントで前年度と比較してマイナス0.21ポイントとなっている。6番の危機管理体制が3.14ポイントでマイナス0.17ポイントとなっている。11番の挨拶、言葉遣いの指導が3.04ポイントでマイナス0.09ポイントとなっている。</p> <p>挨拶、言葉遣いについては、児童生徒ができるかどうかではなく、できるように指導しているかに表現が変わっている。先日の校長会にて、このことについて自己評価実施時に、今一度職員への周知をしてから評価を行うよう依頼した。各校にはそれぞれの課題の改善に向けた取組を進めるよう指示している。</p> <p>資料の2ページ以降は、各校の重点目標一覧を掲載している。A評価が多く見受けられるとともに、重点目標にICTの推進を挙げている学校が多いことが分かる。各校においてChromebookの活用が進んでいることが評価されている。</p> <p>②文化面表彰について、令和3年11月の受章者一覧を配付した。様々な分野で受賞しているので、後ほど御</p>
--	-----------------	---

		<p>確認いただきたい。</p> <p>③令和3年度小学校運動会、中学校体育祭の実施状況について報告をする。現時点で小中学校23校中21校での実施が終了している。残りの2校は、11月下旬から学期末にかけて学年ごとに実施予定である。</p> <p>小学校では、10月30日（土）に、既に実施済みの新開小学校以外の16校で実施された。感染防止対策のために実施種目を児童同士の接触がないようなものに制限したり、保護者の参観を入替制にしたりと、各校の実態に応じて工夫をした。当日は天候に恵まれ、熱中症の心配もなかった。子供たちは、例年に比べると少ない練習時間ではあったが、練習の成果を十分に発揮し、達成感を味わい、思い出に残るものとなった。1年ぶりの運動会ということもあり、保護者からは実施できたことに対する喜びの声を多数聞くことができたようである。</p> <p>中学校では、実施済みの4校中1校のみが実施時期が11月だったことから、保護者の参観を可としたようである。小学校同様、感染防止対策のため学年ごとに実施日を分けたり規模を縮小したりして実施した。これから実施する2校については、実施形態を検討中である。当日は、生徒たちは一生懸命に種目に参加し、満足した様子だったとの報告があった。選手の宣誓や優勝杯の授与の場面では、団長や教員が涙ぐむ場面があり、1年ぶりの体育祭は非常に思い入れが深いものとなったようである。</p> <p>各課からの諸報告に対して質疑、意見はあるか。</p> <p>学校の自己評価についてだが、各学校の重点目標一覧で大和田小学校だけ「学校は」ではなく、「私は」という書き出しで掲げている。大和田小学校があえてこのようにしている意図を御存知だったら教えてほしい。</p> <p>評価システムができた当初から平成10年代ぐらいにかけて、主語が少し曖昧ではないかという議論があり、大和田小学校では、自校の評価は教員一人一人の取組であるということで、「私は」という書き出しにし、各評価項目をさらに細分化して職員向けの設問をつくったという経緯がある。個々の評価をまとめ上げていくと学校評価になるということで、大和田小学校だけが「私は」という主語になっている。</p> <p>挨拶の項目が例年低い評価だったが、少し上がったようである。</p> <p>小中学校ともに3.20ポイント以下ではあるが、小学校は0.02ポイント上がり、中学校は若干下がっている。下がった原因は、マスクを常時つけている影響があるのかもしれないと学校から報告を受けているが、教師が模範となって進めていく。</p>
教育長 委員		
学校教育部長		
教育長		
教育支援課副 課長		

その他	教育長	<p>学校訪問を10月から11月にかけて、多いときには週3日程度実施している。先日、第四中学校を訪問した際の子供たちの挨拶は大変素晴らしかった。他の学校も全体的に雰囲気明るくなったという印象がある。</p> <p>また、授業が1年前とは大きく変化している。子供たちがタブレットを使いこなしている様子を見たら、驚かれると思う。</p>
	教育長 委員	<p>その他、全体を通じて何か意見等はあるか。</p> <p>公民館の利用者から来年度の公民館まつりは実施されるのかと質問を受けるのだが、検討状況を教えてほしい。</p>
	中央公民館長	<p>公民館まつりの実施に関しては、公民館運営審議会で決定するものだが、市では、令和4年度予算には運営費を計上しているところである。</p> <p>例年、4月下旬から5月上旬に実施しているが、新型コロナウイルス感染症の問題もあり、今後どうなるか分からない中で計画を立てるのは困難であるため、例えば時期を秋口にずらすという方法もあるかと思う。</p>
	委員 中央公民館長	<p>コーラスの発表などもできるのか。</p> <p>先日、館長会議を開催し、少し時期をずらせば、新型コロナウイルス感染症もある程度先が見えてくるだろうと考えられるため、コーラス等の発表もできるのではないかという話が出た。各館で委員会の時期が異なることから、方向性だけは決定しておくために館長会議を開いたものである。</p>
	委員 中央公民館長	<p>時期を秋口にずらすと、市民まつりと重なる可能性もあると思う。</p> <p>これから委員会を進めていく中で、市民まつり等との整合性を図りながら、検討していければと考えている。</p>
	委員	<p>公民館の関係で一つ要望なのだが、私もサークルで栄公民館を利用させてもらっているのだが、蛍光灯から音が出ていて気になるため、来年度予算が確保できるなら、全体的に公民館の施設点検を実施して改善していただけたらと思う。</p>
	中央公民館長	<p>各公民館はどこもかなりの年数が経っており、様々な不具合が生じている状況である。予算には限りがあるため、優先順位をつけて、なるべく各館均等に修繕を実施していきたいと考えている。予算編成の時期には必ず現場を見て、優先順位をつけて計上しており、できるだけ早期に不便を解消できるよう財政当局とも調整を図っていきたい。</p>
	委員 学校教育部長	<p>来年の卒業式は、元の形態に戻る予定か。</p> <p>感染状況を見ながら、12月中ぐらいには何らか方向性を打ち出したいと考えている。</p>
閉会	教育長	他になければ、令和3年第12回定例会は、12月

		<p>16日(木)午後4時から市役所本庁舎3階304会議室で行う。</p> <p>これをもって、令和3年第11回新座市教育委員会定例会を閉会する。</p> <p style="text-align: right;">午後4時47分</p>
--	--	---

以上、会議の顛末を記載し、その相違なきことを証するため署名する。

教 育 長

教育長職務代理者

委 員

委 員

委 員

書 記